

2024 年度(8 年目)の活動報告(総括)

仁 田 智・千 葉 裕

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)は、おかげさまでこの4月から9年目に入りました。活動状況等は各号のコンサルタンツ北海道の活動レポートとして報告させていただいているとおりですが、改めて、本会発足の背景や目的等を概説するとともに、2024 年度(8 年目)の活動結果等を総括します。

2. ミライ研の活動目的等

(1) 活動目的と内容

ミライ研の活動目的や内容は以下のとおりです。

〈活動目的・対応する活動内容〉

①高等教育機関の理工学系教育現場(大学・高専・工業高校等)における支援事業活動を通じて、技術士資格(制度)の説明と理解促進、技術士の知名度向上を図るとともに、技術者・技術士を目指す学生(未来の技術者)等を増やす。

⇒「技術士を知ろう！」(出前講座)の実施

②あわせて、この支援事業活動(講演等)を通じて技術士自身も未来を見据え、若手技術者がいきいきと働くために必要な環境づくり(意識改革、人材育成等)について研究・実施する。

⇒「ミライカフェ」、「広場活用プロジェクト」の企画開催等

技術士会活動の活性化に寄与することを目的として活動し、2020 年度で4 年1 期の活動を終え、2024 年は2 期4 年目の最終年となりました。当委員会の研究活動の成果としてはまだまだ道半ばであり、年度末に行われた研究委員会の設置延長申請の結果、引き続き2025 年度以降も継続活動できることとなりました。

(2) 「技術士を知ろう！」(出前講座)の概要

理工学系教育現場への出前講座「技術士を知ろう！」は、2008 年度より青技交において試行し、2017 年度よりミライ研にて運営等を担当しています。実施目的は対象現場(大学、高専、工業高校等)のニーズに合わせて調整等を行っていますが、概ね以下の3 点を基本として実施しています。

①理工学系学生の“理工学系離れ”の抑制(卒業後の就職等)

②専門授業を受けた学生自身のキャリアデザインの一助(将来のイメージとして)

③技術士資格(制度)の説明と理解促進、技術士の知名度向上、資格取得の重要性、技術者・技術士を目指す学生(未来の技術者)等の増加
また、2024 年度の実施履歴等は表-1 のとおりであります。

表-1 「2024(R6)年 技術士を知ろう！」実施履歴

年度	年月	対象
2024 (R06)	'24/06	北海道科学大学 工学部 都市環境学科(1 年生ほか)
	'24/06	苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 都市・環境コース(4 年生)
	'24/10	北海道札幌工業高等学校 土木科(2 年生)
	'24/10	北海道室蘭栄高等学校 (1 年生)
	'24/10	北海学園大学 工学部 社会環境工学科(3 年生ほか)
	'24/11	函館工業高等専門学校 社会基盤工学科(3 年生)
	'24/12	北見工業大学 工学部 地球環境工学科 ・地域未来デザイン工学科(3 年生ほか)

「技術士を知ろう！」講演は、多くの教育機関等からのオファーをいただき、年間6～7 回の講演会を実施してきております。ミライ研として講演を受ける際に最重要視しているのは、担当の先生の熱意です。今後においても、この部分を大事にして活動を継続していきたいと思っております。

(3) 「技術士を知ろう！」の実施体制と要点

出前講座「技術士を知ろう！」は、ミライ研で運営を担当しながら、講演者は青技交に協力を依頼する形で、連携して実施しています。これは、学生に近く、実務を最前線で担当している若手・中堅世代の言葉の方が学生に届くと考えているためです。

また、講義を専門とするプロの講演ではないため、1 名当たり最大 20 分程度、複数名の講演で構成し、学生に飽きられないように工夫しているほか、必ず事前にミーティングを行い、学生に伝わる内容になっているか等のプレゼン内容のチェックを行っています。

3. 2024 年度の活動報告(総括)

(1) 「技術士を知ろう！」実施の工夫点

ミライ研での実施にあたっては、これまで同様、学生からの「フィードバック」を行うためのアンケート調査を、以下の 2 つの目的で実施しています。

- ①実施した「技術士を知ろう！」の評価、振り返りと今後の改善策の検討への活用(フィードバック)
- ②出前講座「技術士を知ろう！」等の対外活動での対象者(学生等)の意識変化

特に 2 つ目は、ミライ研の活動に関する日本技術士会北海道本部の成果指標としての活用も視野に入れて設定しています。

コロナ禍の講演会時には、Google フォームを活用してアンケートを実施し、紙よりも効率的に意見集約が出来たのですが、2024 年度はあえて紙でのアンケートを実施しました。アンケートの配布・回収を通して、学生達との直接の接点を持つことや、動きを取り入れることで講演会を飽きさせない等の工夫を行っています。

(2) 「技術士を知ろう！」活動報告

2024 年度の出前講座「技術士を知ろう！」の活動を総括すると以下のとおりとなります。

なお、個別の活動報告はこれまでの活動レポートを参照いただければ幸いです。

〈対象校、学生数〉(アンケート回収数より)

- ・ 2024 年度は 7 校 7 対象に実施
- ・ 出前講座の聴講学生数合計：246 名

〈アンケート〉

・ わかりやすさ = 4.58(前回 4.61) (5 段階)

満足度 = 4.63(前回 4.61) (5 段階)

※ 5 がわかりやすい・満足

1 がわかりにくい・不満

・ 「技術士」を初めて知った、名前だけ知っていた
= 184 / 240(有効回答数) = 76.7%(前回 76.0)

・ 「将来技術士になりたい」との回答

= 223 / 246(有効回答数) = 90.7%(前回 84.9)

前回アンケートとの比較では、“わかりやすさ”“満足度”ともほぼ昨年と同様の傾向となっています。一方“技術士を初めて知った”割合は前回より約 0.7 ポイント上昇し、“将来技術士になりたい”の割合も 5.8 ポイント向上しています。

アンケート結果から、「技術士」を初めて知った、名前だけ知っていた学生は増加傾向にあり、この講演会を通してより技術士の理解が進み、自らも技術士を目指したいとの動機付けにも繋がっているのではないかと分析しております。

(3) 「技術士を知ろう！」の新たな取り組み

技術士を知ろう！の講演の基本形は、イントロダクションとして技術士資格の説明、制度概要の講演を行い、その後技術士の仕事紹介(2 編)を行い、最後に業界(土木、社会基盤等)の説明というパッケージになっています。

今回、函館高専との事前協議の結果、体験型の試行をすることになりました。

試行内容ですが、普段学生が身近に接する学内施設である旧屋内プールをリユースして新たな価値を見出す事をテーマにワークショップを開催しました。

思った以上に学生達が積極的に意見を述べてくれたのが印象的でした。

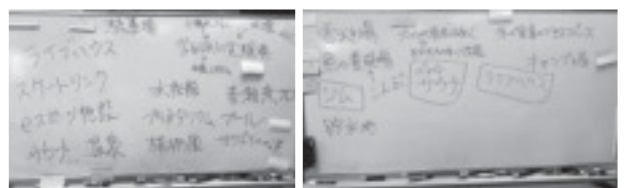
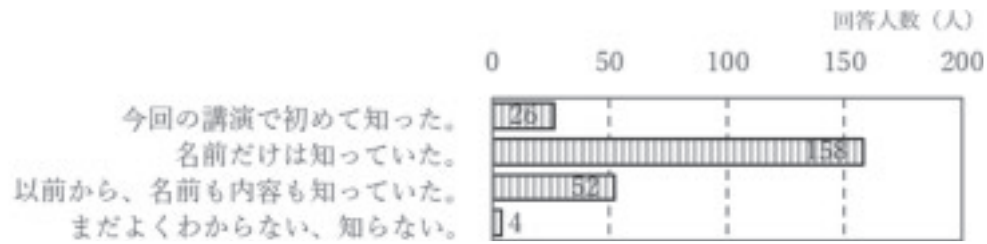


図-1 WS 意見まとめ(左：条件無 右：条件有)

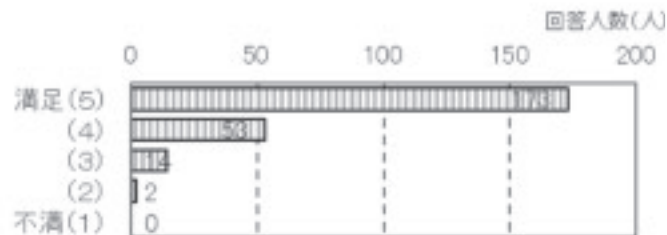
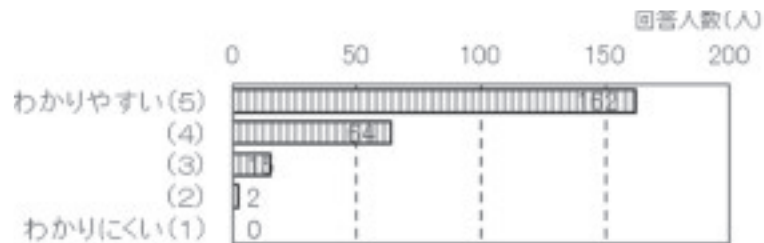
Q. 「技術士」という資格は知っていましたか？

(択一式回答)



Q. 今日の講演を評価してください。

(5段階評価回答)



Q. 将来、技術士になりたい？

(択一式回答)

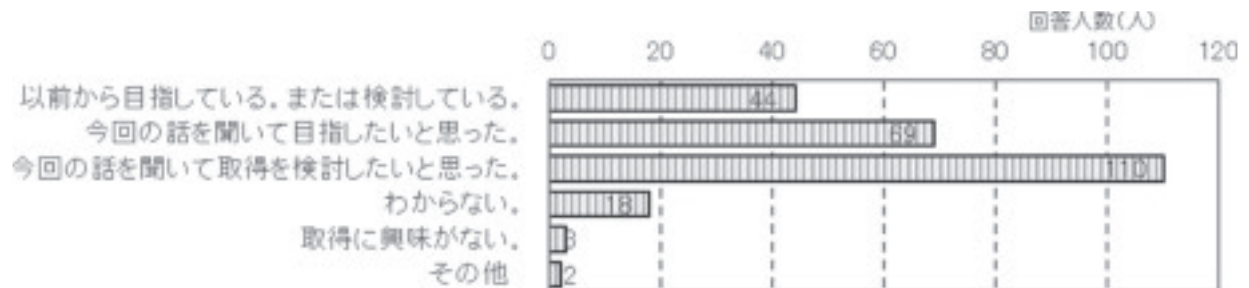


図-2 出前講座「技術士を知ろう」実施時アンケート結果(総括)

※ 2024 年度実施 7 校 7 対象、アンケートを回収した 246 名対象にした実施結果
(記入なしの回答もあったため、各項目の合計値は回収枚数と合致しない)

(4) 「ミライカフェ」活動報告

「ミライカフェ」は、ミライの技術士(技術者)がいきいきと働ける環境づくりに向けて、考え方の共有や意識啓発を図り、そこで得た知見や考え方などを成果にまとめ、広く普及を図ることが目的です。

また、カフェのようにリラックスし、休憩時間に少しまじめな話で盛り上がるような雰囲気の間を作り出せるよう活動を継続しています。

ミライカフェの実施履歴は表-2 の通りですが、今年(2024 年)の北海道大会(全国大会)にて、これまでの集大成として成果の発表を行いました。

表-2 「ミライカフェ」実施履歴

年月	回数	テーマ
'20/02	ミライカフェ vol.1	働き方改革は必要か(プレスト)
'21/03	ミライカフェ vol.2	テレワークはミライの働き方を変える???
'21/09	ミライカフェ vol.3	チームで成果を出す(月で遭難ゲーム)
'22/03	ミライカフェ vol.4	個別の視点(みんなでアドバイス)
'22/07	ミライカフェ vol.5	若手の視点(若手が求める働く環境、働くために必要なこと)
'23/02	ミライカフェ vol.6	世代別の課題(世代ならではの働く環境、働くために必要なこと)
'23/07	ミライカフェ vol.7	理想の働く環境
'23/09	ミライカフェ vol.8	理想の働く環境と実現に向けてできること
'24/03	ミライカフェ vol.9	いきいきと働く未来に向けて、今後、発信していくべきこと
'24/08	ミライカフェ vol.10	いきいきと働くためのコミュニケーション
'24/10	全国大会(in 札幌)	～キラキラ☆ミ技術士まし×2 大作戦!～
'25/03	ミライカフェ vol.11	みんなのサードプレイス～ キラキラし続けるために～

(5) 「広場活用プロジェクト」活動報告

広場活用プロジェクトは、札幌市東区元町会館前の広場を地域の交流拠点として活用することを目的に東区元町まちづくり連合会で進めているものです。

北海道札幌工業高校は 2017 年度から土木科 3 年生の課題研究授業としてプロジェクトに参加しており、2018 年度からは当委員会も同校を支援し、協力してプロジェクトを進めてきました。

生徒たちはこれまで、広場活用の全体計画を進めながら、1 年ごとに設計・施工に取り組んでおり表-3 のような広場が整備されてきております。

表-3 「広場プロジェクト」実施履歴

実施年	取組内容
2018	ベンチ製作
2019	駐車場区画、全体計画・園路設計
2020～2023	やすらぎスペース計画・園路施工
2021	平板ブロック布設
2023	階段工施工
2024	園路・階段工施工、ファニーチャーの製作・設置

4. おわりに～今後のミライ研活動に向けて～

ミライ研の主活動である「技術士を知ろう!」はこれまでの数々の経験を踏まえ、安定的な活動が行えてきています。また、「ミライカフェ」、「広場活用プロジェクト」の活動も本格化してきており、精力的に取り組むことができるようになりました。

引き続き皆さまのご支援、ご協力を頂きながら活動を継続していききたいと思います。

表-4 第 2 期 技術者のミライ研究委員会体制

代 表	小澤 正志(総監/建設)
副 代 表	仁田 智(総監/建設)
幹 事 長	千葉 裕(建設)
幹 事	木本 光則、永井 登茂美、平岡 城栄、西村 力哉、鈴木 敬一、滝澤 嘉史、朝日 孝輔、三吉 憲一、寺西 一也、益子 直樹、永田 泰浩、宮下 謙次、源野 雄輔、堂領 弘昌、塩見 武、藤平 雅之、中前 千佳、中谷 幸生、原田 雄一、斉藤 裕俊、藤井 貴弥、三品 暖子、高田 賢一、川村 茂、太田 真吾、密山 彰浩

令和 7 年 4 月 30 日時点

仁 田 智(にた さとし)

技術士(建設部門/総合技術監理部門)

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会
技術者のミライ研究委員会
副代表
株式会社 雪研スノーイーターズ
調査設計部長



千 葉 裕(ちば ゆたか)

技術士(建設部門)

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会
技術者のミライ研究委員会
幹事長
株式会社 北海道水工コンサルタンツ
技術部 事業推進担当部長

